10 月 号　令和８年９月３０日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町６９４番地
〒911－0149
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

AI の時代に、大切にしたいこと



校長　　村上　尚子

先日、本校の保健の授業を参観したときのことです。

「不安やなやみがあるとき、ふだんの自分はどうしているか、思い出してみましょう。」という教師の問いに、「AI に相談する。」との声がありました。するとその声に「私も！」「僕も！」と手を挙げて賛同する子どもたち複数。思わず「おー、なるほど。」と小声でつぶやく自身がおりました。AI が、子どもたちにとってもすでに身近な存在になっていることを実感した瞬間でした。

わからないことを調べたり、文章を作ったり、アイデアを出したり、そして悩みや不安を聞いてもらったり・・・。AI はこれからの私たちの生活や学びを、さらに便利で豊かなものにしてくれることは、想像にたやすいことと思います。

では、AI が様々なことを教えてくれる時代に、学校で大切にしたい学びは何でしょう。

私はこれまで以上に、「自分でよく考えること」「人との対話を大切にすること」「相手の気持ちを想像すること」「実際に体験すること」「自分なりの問いをもつこと」だと思います。AI が出した答えをそのまま受け取るのではなく、「本当にそう？」「自分はどう思う？」と立ち止まって考えたり、友達や家族と話すことでしか得られない「共感」や「安心」があることを感じたり、そして「自分が何を知りたいのか」「何を大切にしたいのか」「どうしたいのか」を決めるのは私たち自身であるということを、学校での学びの中で得てほしいと願っています。

特に、冒頭に書きました「不安」や「悩み」というものは、答えが一つではありません。誰かに聴いてもらい、「それはつらかったね。」と、気持ちを受け止めてもらうことや、顔を合わせて話す中で、自分でも気づかなかった思いに気づくことがあります。

前期、子どもたちは、友達や先生たち、地域の方とのかかわりの中で、たくさんの「気づき」や「学び」を積み重ねてきました。後期もお互いに認め合い、考えを伝え合い、学びと学びをつなぎながら、一人では生み出せない「ともに創る」学びを大切にしていきます。

AI が進化し、AI と共に生きる時代だからこそ、人と人とのつながり中で育つ力を大切に、荏田小学校３００名の子どもたちとともに、新しい未来を創っていきたいと思います。

１０月９日(金)で令和８年度前期が終わります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては本校教育活動へのご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。引き続き、後期もどうぞよろしくお願いいたします。